

○氏名：吉田 亨 PE-0157

PE 受験レポート (2008 年 4 月 韓国 Seoul 受験 Mechanical HVAC)



試験場の基地正門と裏門

合格までの道のりを時系列で記述します。皆様のご参考になれば幸いです。

- 1985 年 大学院終了後、最初に就職したエンジ会社にて PE の存在を知る。
2001 年海外赴任先の中国より帰国し、技術資格の取得をめざす。
2002 年に日本の技術士を取得後、FE の勉強を開始し 2003 年 FE 受験。
- 2004 年 12 月 受験後 OSBEEL より大学成績表 (ABET) 提出の要請ある。
それを提出した後、FE 試験合格通知を受領する。
- 2005 から 2006 年 JSPE 関西鬼金で PMP 講座を受講し、PMP 資格試験を受験した。
- 2007 年 1 月 PMP 合格後、PE 受験のため JSPE 鬼金講師の方へ PE 試験の推薦状をお願いする。
- 2007 年 4 月 23 日 秋のグアム試験に向けて EMS で OSBEEL へ申込を送付する。
(航空券、ホテルも併せて手配)
その後メールで OSBEEL へ状況を聞かすが、先方からは答えられない。まもなく届くという返事のみ。
- 2007 年 8 月 14 日 OSBEEL より前職 PE 推薦状と ECE 成績評価提出必要とレターが届く。
(レターは 8/7 付けであり、翌日 15 日までに返信すべしとある。)
- 2007 年 8 月 17 日 手持ち ECE 評価コピーと知人追加紹介書を OSBEEL へ送付する。
(盆休み中でもありこれが最速であった)
- 2007 年 8 月 22 日 OSBEEL より試験を延期するののかという問合せメールあり。所定のは送付済みであり、今年受験希望と返信する。
- 2007 年 8 月 28、29 日 OSBEEL へ連日、電話で連絡するが、らち開かず試験延期を決定し、OSBEEL へ延期要請のレターを書く。併せてグアムへの航空券、ホテルをキャンセルする。
- 2007 年 9 月 4 日 OSBEEL より来年春まで延期を確認した旨のレターあり。
- 2007 年 12 月 10 日 OSBEEL より翌年春の受験 OK のレターあり。(追加受験料はなし)

- 2007年12月27日 試験代行の ELSESES へ受験を申し込む。ところが当方のアドレスが入力できない。問い合わせたら、受験者のアドレスの事前登録が別途あった。
- 2008年1月14日 ELSESES より再入力の指示あり。
JSPE ホームページにて韓国での受験実績を知り、便利な韓国ソウル受験で入力。(JSPE の方のレポートにて韓国での受験可能性を確信する。)
ELSESES より韓国の SSN の問合せがあったが、日本の SSN を連絡する。
- 2008年3月28日 ELSESES より受験票がメールで届く。(あとでわかるのであるがメール送付状に担当韓国人プロクター氏の TEL No の記述があった。)
受験票には試験会場は Yongsum US Army Garison で住所なし。建物名は Far East Engineer District, VTC Room, T-109 and Computer Training room とかいているのみ。インターネットで基地案内を見るが地図がない。米国の旅行ガイドにて基地のあらかたの場所がわかった。前日1日あれば、ソウルの試験場所はさがせるであろうと考える。
- 2008年4月11日(金) 試験前々日 17 時、韓国 SEOUL 到着する。
韓国試験は他より試験日が1日遅い。前述の JSPE の方も記述している。
- 2008年4月12日(土) 試験前日、実際の試験を想定し朝6時にホテルを出発、Yongsum 基地守衛所で受験票の建物を聞けがわからない。土曜でもあり基地に人間がいない。基地内の観光案内所で聞けがやはりわからない。そこでメール送付状を読み返し、上記韓国人プロクターの方の TEL 番号がある事に気づき電話する。氏より FE 試験は人数がおおいので基地にて行うが、PE は人数少なく、ホテル近くのエンジニア専用施設で行うことが判明する。やっと試験場所の確認ができ一安心する。地下鉄 東大門運動場駅出口近くの大病院の裏、公園隣にあった。エンジニア向けの地味な施設であった。
- 2008年4月13日(日) 試験当日、早起きし上記施設へ到着する。守衛所で身分証明書と照合し入所している。約50人程度。日本人は小生1名であった。なお守衛の持つ小生の記載は日本の社会保険番号であったが、番号を証明するものを持ち合わせていなかった。社会保険手帳コピーがあればよかった。敷地内へ入れない。パスポートはあるが SNN 番号の表記がない。すると上記の韓国人プロクターがきてくれ、守衛所に小生の日本運転免許証を預けて氏と一緒に入所することができた。韓国では免許証に SSN の記述がある模様。プロクター氏は昔、横須賀で受験したとのこと。氏から日本人1人どうして韓国で受験かと聞かれる。小生より PE は日本で受験できるが米国登録が現状は難しいこと。それと韓国が好きであるからと答える。守衛所で身分照合できず追い返されるかと思っていたところ、無事入所できたので、まさしく韓国大好きと思えた。試験会場では試験前に米国人プロクターが受験者1人ずつと握手を交わし、頑張れと挨拶してくれたのが印象的である。
昼休みは受験者は試験建物より追い出される。基地外にも出れるようであったが、小生は身分証明するものがなくでれない。昼食は前日ロッテホテル地下デ

パートで仕入れたパン、バナナ、缶コーヒー。他建物をのぞいたがステーキハウスとかかれた食堂施設や、米国ゼネコンが戦後のイラクで各種施設を作っていると写真掲示されておりなかなか興味深かった。

8時間の試験後、持帰る宿題をプロクターに聞いたが韓国では渡さないとのこと。試験合格後に宿題を提出するとのこと。まさしくそのようであった。後日、OSBEELに問い合わせたところ郵送してくれ、合格発表前であるが送付した。

2008年4月14日(月) 帰国してそのまま出社。(ソウルは近い)

2008年6月19日 合格通知が届く。えらく早い。本当は3か月後の7月中旬のはず。

2008年6月20日 お世話になった方々へお礼のメールをさせていただく。先方からは自分のことのように喜んでいただいたのが大変うれしかった。

【PE 試験の参考書】

持ち込んだ書籍を以下列記します。基本をしっかりおさえることが重要と思われます。

- ・Reference Manual 例題中心に5回以上やった。現地には分冊製本して持込む。
- ・Practice Problem 解法1h以上という難しい問題は読み飛ばす。
- ・Sample Examination むずかしいので、あまりやっていない。
- ・Quick Reference 役立つ。索引より公式、例題や解法が引けるように書き込む。
- ・101 Solved Mechanical Engineering ……難しい。
- ・NCEES PE Mechanical Engineering Sample……実際的でよかった。
- ・6 Minutes…… 基本的で役立った。
- ・英和辞典(試験中のチェックで怪訝そうにみられたが問題なし)
- ・ASHRAE2001年版(AHRAEは91年よりSI単位である。)1問だけとくの役に役立った。

【PE 試験にかかったコスト】

- ・受験料：480ドル。OSBEEL \$ 150 + **ELSES \$ 330** (韓国は本国より\$ 100高い)
- ・通信費：郵便局EMS(どこにあるかがわかかわかる。受け取った人の名前まで)
- ・本：なんだかんだで10万円
- ・宿泊：1泊1万円程度x3泊(ソウル市役所裏の国際ホテル。きれいでないが町の中心で便利)
- ・航空機：出張でためたマイレージにて手当て(韓国は近く15000マイルでゲットできる)
- ・総額：約25万円



チヂミとブルコギ